

# I 調査結果の概要

## 1 青果物の卸売動向

平成18年(1～12月)の全国の青果物卸売市場における取扱いの状況は以下のとおりとなった。(表1)

### (1) 野菜

野菜の卸売数量は1,174万tで、前年に比べ2%減少した。

これは、キャベツが前年の低温の影響から生育が遅れ、1月以降の入荷が増加したことにより6%増加したものの、なすが低温等の影響により9%減少したことや、きゅうりが天候不良のため7%減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均192円で、前年に比べ6%上昇した。

これは、きゅうり、なす等を始めとして全体的に低温等の影響により卸売数量が減少したことから高値で推移したことなどによる。

卸売価額は2兆2,497億円で、前年に比べ4%増加した。

### (2) 果実

果実の卸売数量は448万tで、前年に比べ10%減少した。

これは、国産果実においてみかんが少雨の影響等で果実の肥大が抑制され小玉出荷が多くなったことや、日本なしが天候不良のため減少したことに加え、輸入果実においても、フィリピン産バナナが不作により減少したことや、アメリカ産グレープフルーツが小玉出荷であったことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均271円で、前年に比べ11%上昇した。

これは、みかん、日本なし、メロンが低温、少雨等の影響により卸売数量が減少したことに加えバナナ、グレープフルーツの輸入が減少したことにより、前年に比べ価格が大幅に上昇したことなどによる。

卸売価額は1兆2,125億円で、前年に比べ1%減少した。

表1 青果物卸売数量・価額・価格

単位 { 数量：万t  
価額：億円  
価格：1kg当たり円

区 分		実 数			対 前 年 比 ( % )		
		平.16	17	18	平.16	17	18
計	卸売数量	1 701	1 696	1 622	96	100	96
	卸売価額	36 377	33 879	34 622	101	93	102
野 菜	卸売数量	1 205	1 195	1 174	97	99	98
	卸売価額	23 406	21 626	22 497	100	92	104
	卸売価格	194	181	192	103	93	106
果 実	卸売数量	496	500	448	95	101	90
	卸売価額	12 971	12 253	12 125	102	94	99
	卸売価格	261	245	271	107	94	111

図1 野菜の卸売数量と卸売価額の推移

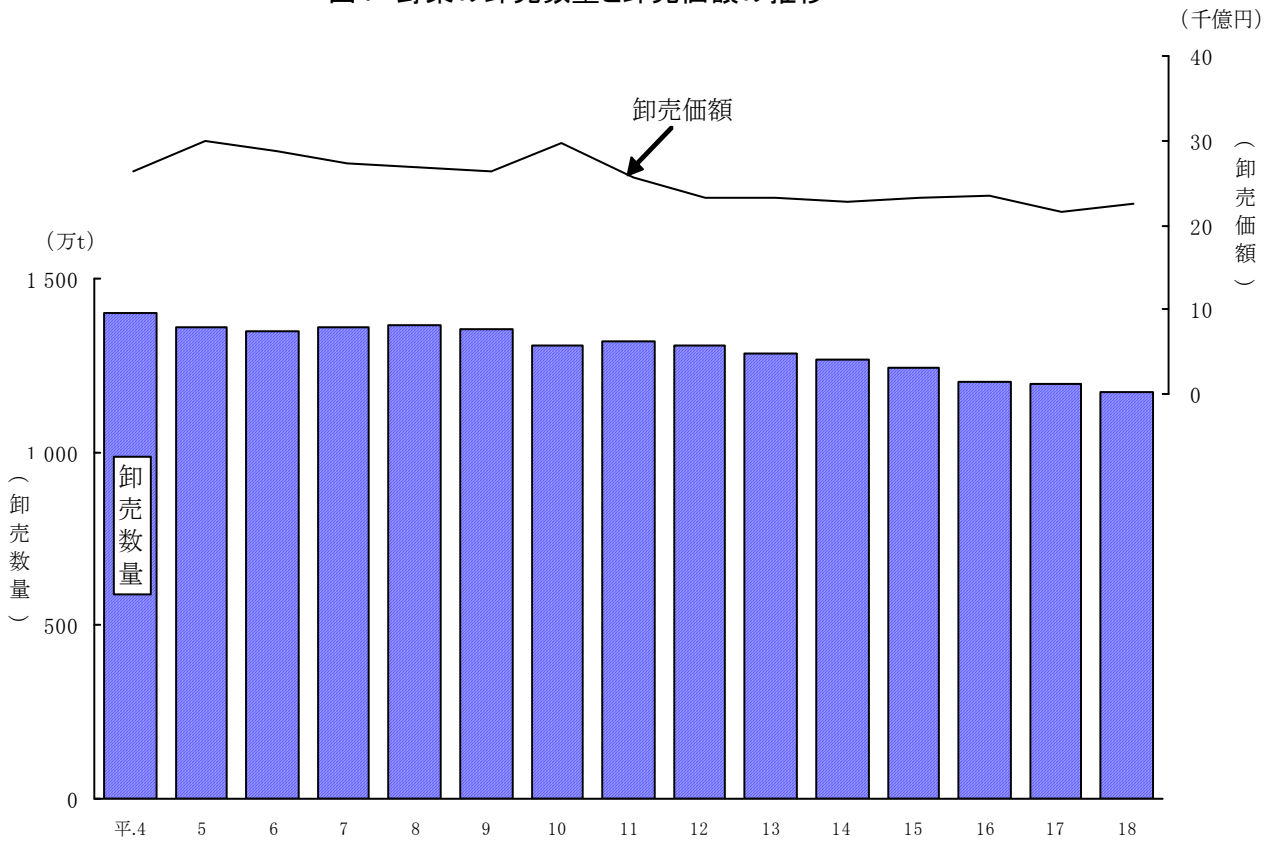
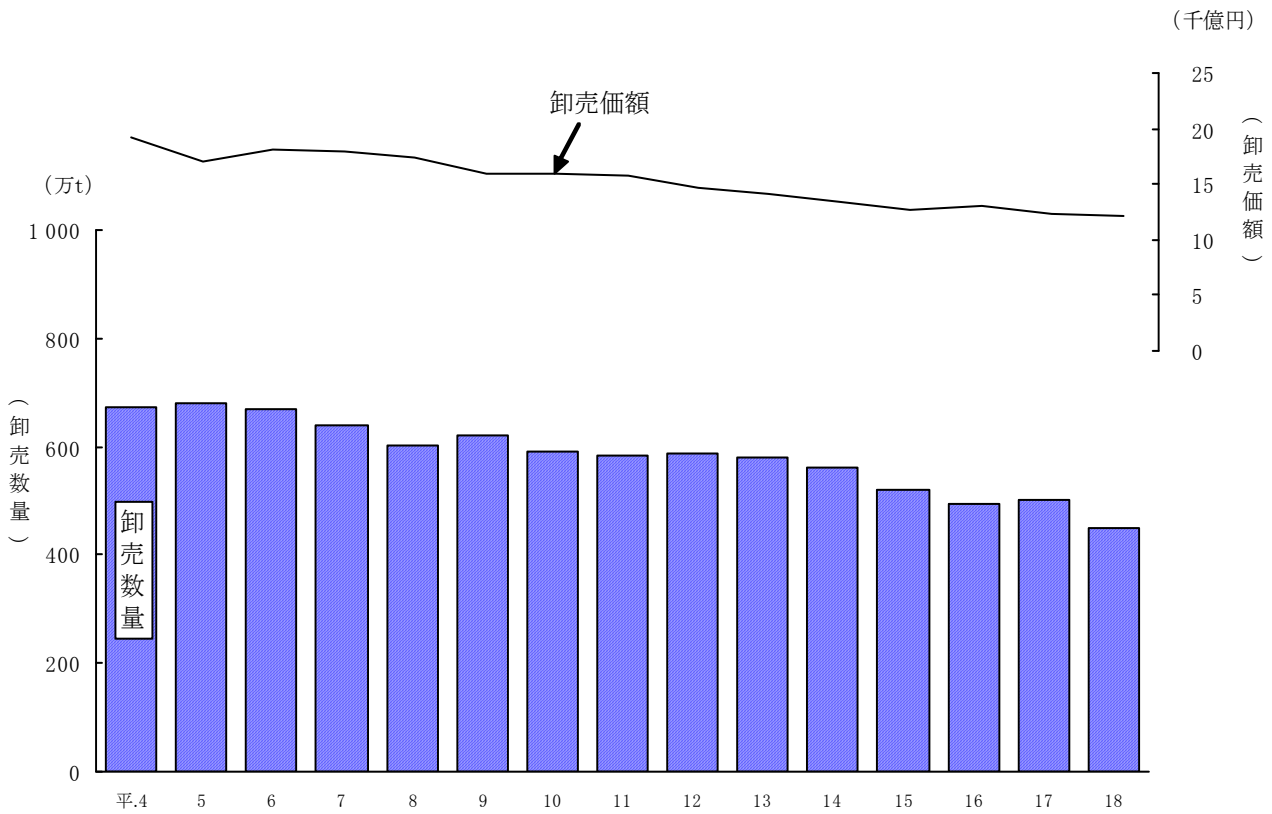


図2 果実の卸売数量と卸売価額の推移



(3) 主要都市\*の市場における輸入野菜の動向（表2、3）

ア 卸売数量は34万tで、前年に比べ21%減少した。

これは、たまねぎの輸入が前年大幅に増加したものの、本年は減少となったことや、アメリカ産ブロッコリーが天候不良の影響から不作であったため輸入が減少したことなどによる。

イ 輸入割合（各品目の卸売数量の総量に占める輸入の割合）の高い品目は、にんにく（65.0%）、さやえんどう（46.4%）、かぼちゃ（42.2%）、しょうが（36.6%）、アスパラガス（27.2%）等となっている。

※ 主要都市とは、①人口20万人以上で、かつ青果物の年間取扱量がおおむね6万t以上の都市、②県庁所在都市及び中央卸売市場が開設されている都市をいい、人口等により1類都市と2類都市に区分している。（1類都市、2類都市の基準の詳細は「利用者のために」を参照。）  
 なお、輸入野菜については、主要都市の市場計のみであり全国計の推定は行っていない。（以下同じ。）

表2 主な輸入野菜の卸売数量と輸入割合

品目	卸売数量						輸入割合		
	平. 16	対前年比	17	対前年比	18	対前年比	平. 16	17	18
輸入野菜計	384	99	430	112	340	79	4.3	4.9	3.9
うち、									
にんじん	14	109	31	217	29	93	2.5	5.8	5.5
ごぼう	14	84	12	86	13	110	11.3	10.0	11.8
たけのこ	3	88	3	99	2	90	13.3	16.4	13.1
キャベツ	10	372	12	115	4	35	1.0	1.1	0.4
ねぎ	32	148	30	96	27	90	11.4	10.9	10.1
アスパラガス	8	94	8	103	7	84	29.7	30.6	27.2
ブロッコリー	36	103	31	86	23	76	37.1	34.1	22.0
かぼちゃ	93	80	105	113	85	81	43.4	45.9	42.2
ピーマン	11	105	12	108	11	89	8.2	9.1	8.5
さやいんげん	1	137	1	93	1	80	7.6	6.9	6.0
さやえんどう	12	106	11	86	7	66	61.9	57.5	46.4
さといも	6	104	6	104	11	188	6.6	7.1	16.0
たまねぎ	62	100	97	157	60	62	6.5	10.6	6.7
にんにく	17	102	17	99	14	84	68.1	69.1	65.0
しょうが	16	91	15	91	14	95	39.1	36.8	36.6
生しいたけ	17	98	14	84	10	68	30.7	27.4	20.2

ウ 国産品と輸入品の卸売価格を比較すると、国産品との価格差（国産品を100とした輸入品の価格比）が大きい品目は、にんにく（16%）、さやえんどう（35%）、生しいたけ（35%）、しょうが（42%）、ねぎ（43%）等となっている。

表3 主な野菜の国産品と輸入品の卸売価格

単位：1kg当たり円

品目	平. 16			17			18		
	卸売価格		国産品を100とした輸入品の価格比	卸売価格		国産品を100とした輸入品の価格比	卸売価格		国産品を100とした輸入品の価格比
	国産品	輸入品		国産品	輸入品		国産品	輸入品	
			%			%			%
にんじん	112	77	69	125	78	62	142	91	64
ごぼう	197	118	60	175	80	46	234	114	49
たけのこ	278	366	132	351	349	99	322	410	127
キャベツ	91	73	80	87	76	87	86	85	99
ねぎ	349	135	39	312	130	42	332	143	43
アスパラガス	949	698	74	939	692	74	992	724	73
ブロッコリー	320	237	74	366	264	72	276	269	97
かぼちゃ	149	145	97	133	114	86	182	161	88
ピーマン	320	517	162	317	523	165	384	606	158
さやいんげん	737	575	78	668	583	87	718	627	87
さやえんどう	984	267	27	938	303	32	961	332	35
さといも	178	101	57	180	104	58	252	118	47
たまねぎ	91	67	74	97	65	67	92	78	85
にんにく	1 188	142	12	1 159	132	11	1 056	172	16
しょうが	576	282	49	537	255	47	566	235	42
生しいたけ	944	276	29	967	318	33	1 006	357	35

参考1 主な野菜の輸入国と輸入数量割合（平成18年計）

上段：輸入国名  
下段：数量割合（%）

品目	1位	2位	3位	4位	5位
にんじん・かぶ	中国 90.8	ニュージーランド 3.9	オーストラリア 3.7	台湾 1.2	アメリカ 0.3
ごぼう	中国 89.6	台湾 10.4			
キャベツ他	中国 93.6	韓国 5.9	台湾 0.4	ベトナム 0.1	オランダ 0.0
ねぎ	中国 100.0				
アスパラガス	タイ 24.9	フィリピン 22.3	メキシコ 19.6	オーストラリア 19.5	ペルー 4.9
ブロッコリー	アメリカ 78.9	中国 20.1	オーストラリア 0.9	メキシコ 0.1	フィリピン 0.0
かぼちゃ	ニュージーランド 57.5	メキシコ 31.0	トンガ 7.7	ニューカレドニア 2.4	オーストラリア 0.7
ピーマン	韓国 63.9	オランダ 21.1	ニュージーランド 15.0	アメリカ 0.0	
ささげ・いんげん まめ属の豆	オマーン 90.8	中国 7.0	アメリカ 1.3	アラブ首長国連邦 0.7	メキシコ 0.1
えんどう	中国 98.8	ベトナム 0.8	タイ 0.3	メキシコ 0.0	
さといも	中国 100.0				
たまねぎ	中国 71.2	アメリカ 8.1	ニュージーランド 6.1	タイ 2.3	オーストラリア 2.0
にんにく	中国 99.8	アメリカ 0.2	韓国 0.0		
しょうが	中国 97.9	タイ 1.7	インドネシア 0.4	ミャンマー 0.0	
しいたけ	中国 100.0				

資料：財務省「貿易統計」

注：「ピーマン」は、厚肉大果種のものである。

## 2 主要品目の動向

### (1) 野菜

表4 主要野菜の卸売数量

区 分	卸 売 数 量 (万 t)			対 前 年 比 (%)		
	平.16	17	18	平.16	17	18
野 菜 計	1 205	1 195	1 174	97	99	98
うち、						
だいこん	116	116	115	94	101	99
にんじん	76	71	69	100	93	97
はくさい	96	99	97	94	103	98
きゃべつ	143	138	145	96	96	106
ほうれんそう	18	18	18	83	103	101
ねぎ	40	39	37	98	98	96
レタス	61	64	64	94	105	101
きゅうり	63	61	57	99	97	93
なす	35	35	32	100	99	91
トマト	64	64	63	96	100	98
ピーマン	18	18	17	103	98	95
ばれいしょ	78	78	78	96	100	101
さいも	12	11	9	97	94	82
たまねぎ	123	120	118	99	97	99

注：トマトについては、ミニトマトを含む。（以下表5及び6において同じ。）

表5 主要野菜の卸売価額

区 分	卸 売 価 額 (億円)			対 前 年 比 (%)		
	平.16	17	18	平.16	17	18
野 菜 計	23 406	21 626	22 497	100	92	104
うち、						
だいこん	1 038	870	913	105	84	105
にんじん	832	850	944	96	102	111
はくさい	723	553	608	118	77	110
きゃべつ	1 276	1 170	1 229	106	92	105
ほうれんそう	825	740	708	103	90	96
ねぎ	1 232	1 090	1 121	103	88	103
レタス	1 170	959	992	104	82	103
きゅうり	1 512	1 363	1 546	97	90	113
なす	967	876	956	93	91	109
トマト	2 052	1 941	2 006	107	95	103
ピーマン	594	579	659	98	97	114
ばれいしょ	917	922	887	99	101	96
さいも	201	195	213	89	97	109
たまねぎ	1 113	1 109	1 071	94	100	97

表6 主要野菜の卸売価格

区 分	卸 売 価 格 (1kg当たり円)			対 前 年 比 (%)		
	平.16	17	18	平.16	17	18
野 菜 計	194	181	192	103	93	106
うち、						
だいこん	90	75	79	113	83	105
にんじん	110	120	137	96	109	114
はくさい	75	56	62	125	75	111
きゃべつ	89	85	85	110	96	100
ほうれんそう	470	407	386	124	87	95
ねぎ	311	282	302	105	91	107
レタス	193	151	154	111	78	102
きゅうり	239	222	272	98	93	123
なす	273	249	300	93	91	120
トマト	320	302	319	111	94	106
ピーマン	331	330	397	95	100	120
ばれいしょ	118	119	113	102	101	95
さいも	165	170	225	92	103	132
たまねぎ	90	93	90	95	103	97

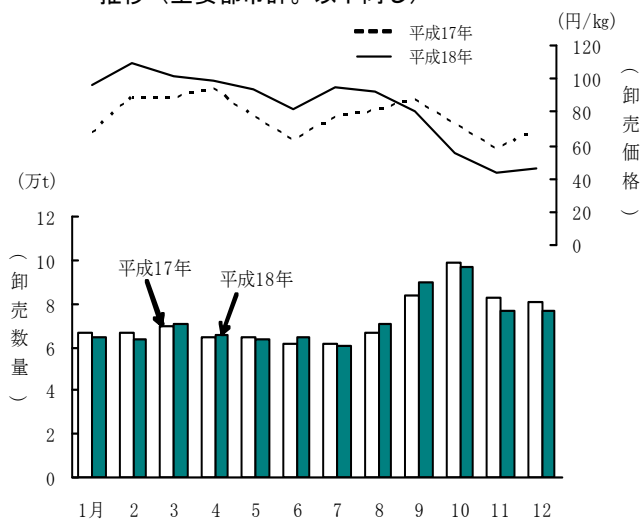
## ア だいこん

平成18年の全国の青果物卸売市場における（以下同じ。）卸売数量は115万 tで、前年に比べ1%減少した。

これは、比較的天候が良く順調な入荷が続いたものの、作付面積が減少したことなどによる。

卸売価格は、年始めに入荷量が少なく高値で推移したこと、前年の価格が安かったことなどから、前年に比べ5%上昇し79円となった。（表4・6、図3）

図3 だいこんの月別卸売数量と卸売価格の推移（主要都市計。以下同じ）



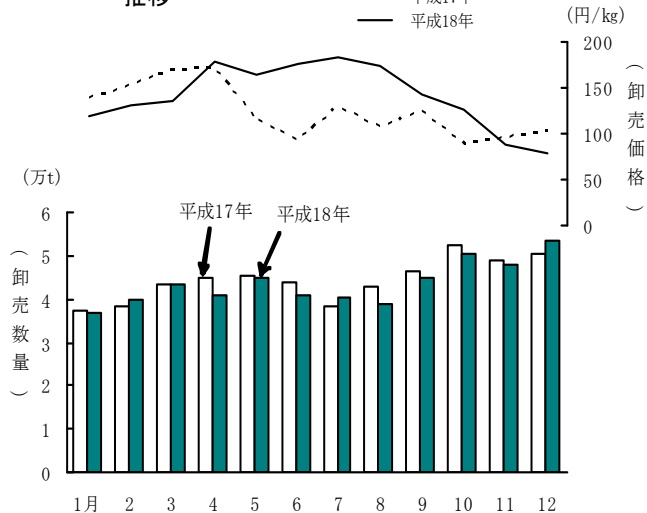
## イ にんじん

卸売数量は69万 tで、前年に比べ3%減少した。

これは、8～10月に低温、日照不足のため入荷量が減少したこと、少雨の影響で肥大が抑制されたことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ14%上昇し137円となった。（表4・6、図4）

図4 にんじんの月別卸売数量と卸売価格の推移



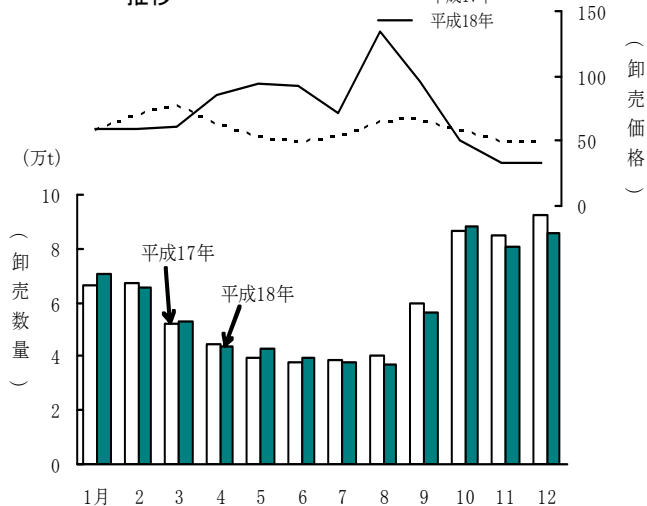
## ウ はくさい

卸売数量は97万 tで、前年に比べ2%減少した。

これは、7月に降雨による病害虫の発生や、8月の少雨により肥大が抑制されたことなどによる。

卸売価格は、8・9月の入荷量の減少による価格高騰などから、前年に比べ11%上昇し62円となった。（表4・6、図5）

図5 はくさいの月別卸売数量と卸売価格の推移



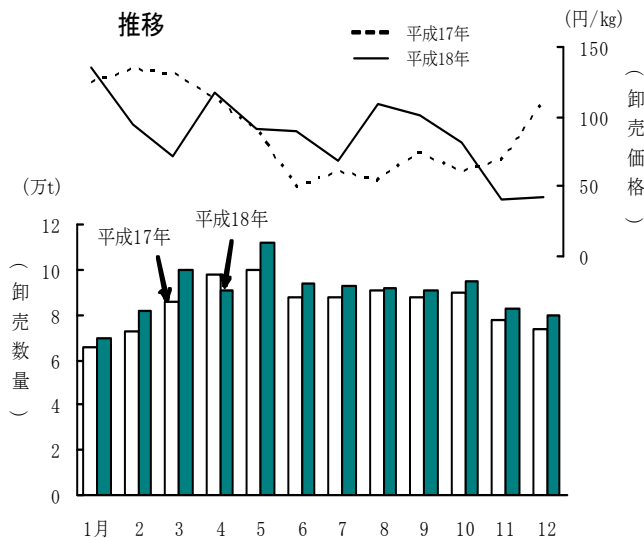
## エ キャベツ

卸売数量は145万 tで、前年に比べ6%増加した。

これは、比較的天候に恵まれ、ほぼ一年を通じて順調な入荷が続いたことなどによる。

卸売価格は、2・3月が入荷量増加のため価格が低迷したが、5～9月にかけては安値であった前年に比べ価格が高かったことから、前年並みの85円となった。(表4・6、図6)

図6 キャベツの月別卸売数量と卸売価格の推移



## オ ほうれんそう

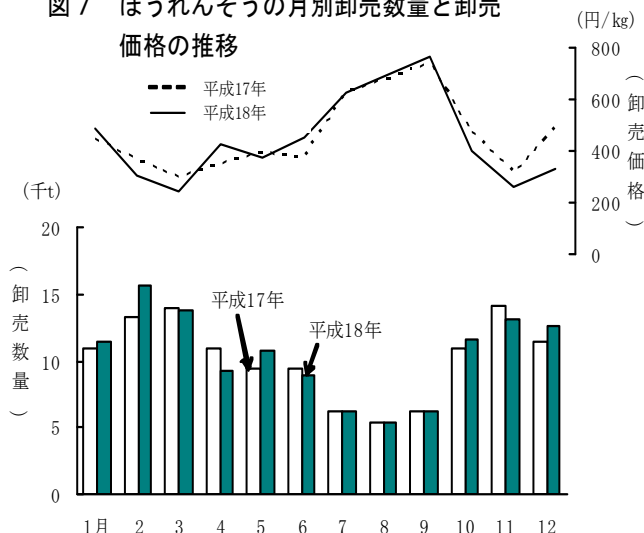
卸売数量は18万 tで、前年に比べ1%増加した。

これは、前年のような台風被害がなく、1・2月に順調な入荷となったことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加したことなどから、前年に比べ5%低下し386円となった。

(表4・6、図7)

図7 ほうれんそうの月別卸売数量と卸売価格の推移



## カ ねぎ

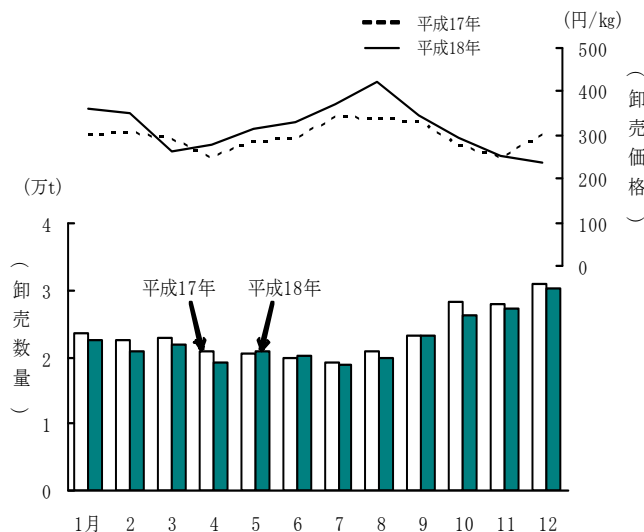
卸売数量は37万 tで、前年に比べ4%減少した。

これは、中国産が寒波の影響で生育不良となり輸入数量が減少したことなどによる。

卸売価格は、輸入量の減少により国産品の引き合いが高まり高値で推移したことなどから、前年に比べ7%上昇し302円となった。

(表4・6、図8)

図8 ねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



## キ レタス

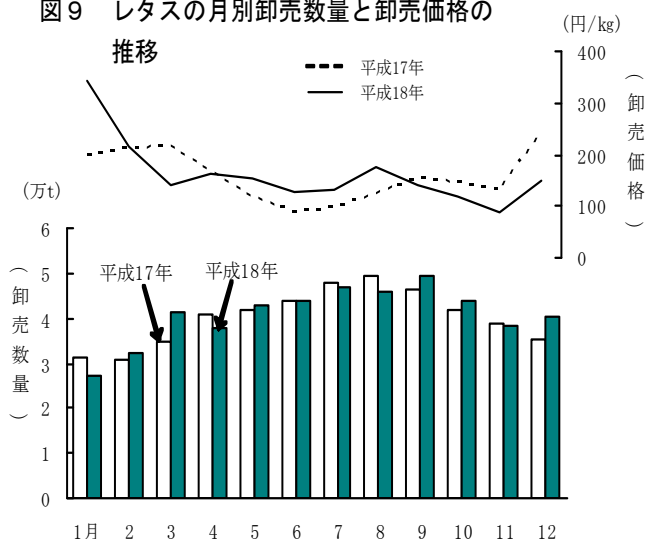
卸売数量は64万 tで、前年に比べ1%増加した。

これは、9月以降天候に恵まれ順調な入荷となったことなどによる。

卸売価格は、1月に入荷量が少なく価格が高騰したこと、5～8月は安値であった前年に比べ安定した価格であったことなどから、前年に比べ2%上昇し154円となった。

(表4・6、図9)

図9 レタスの月別卸売数量と卸売価格の推移



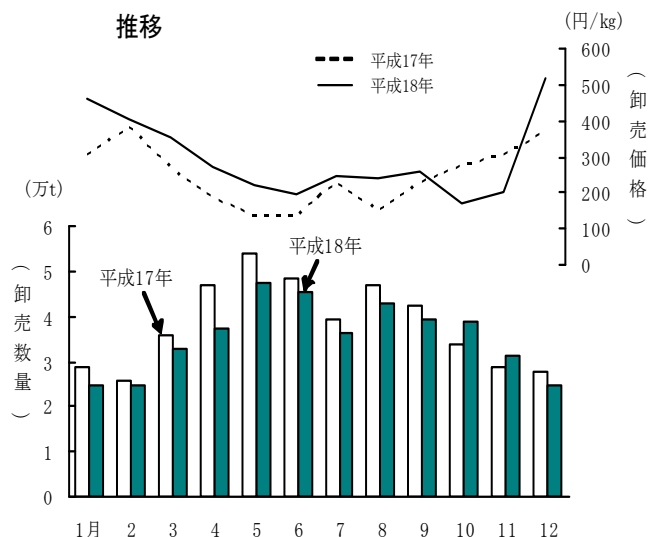
## ク きゅうり

卸売数量は57万 tで、前年に比べ7%減少した。

これは、低温、日照不足及び重油高による暖房費抑制の影響により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の減少により、高値で推移したことなどから、前年に比べ23%上昇し272円となった。(表4・6、図10)

図10 きゅうりの月別卸売数量と卸売価格の推移



## ケ なす

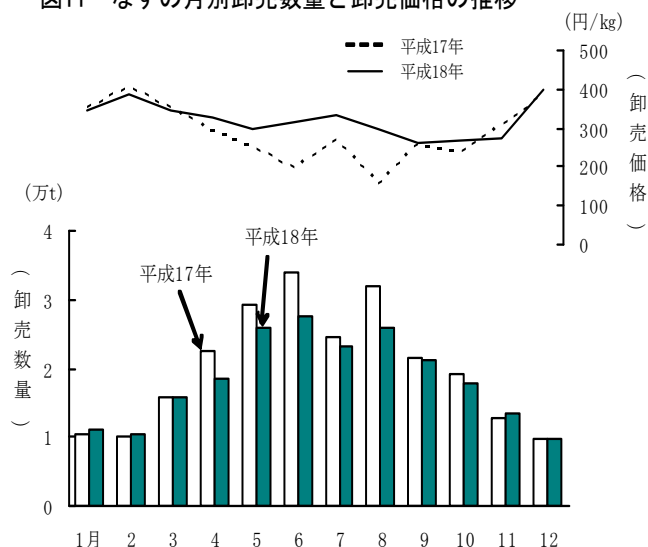
卸売数量は32万 tで、前年に比べ9%減少した。

これは、日照不足による生育の抑制、病害虫の発生により、4～10月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少した4～8月にかけて高値で推移したことなどから、前年に比べ20%上昇し300円となった。

(表4・6、図11)

図11 なすの月別卸売数量と卸売価格の推移





コ トマト（ミニトマトを含む。）

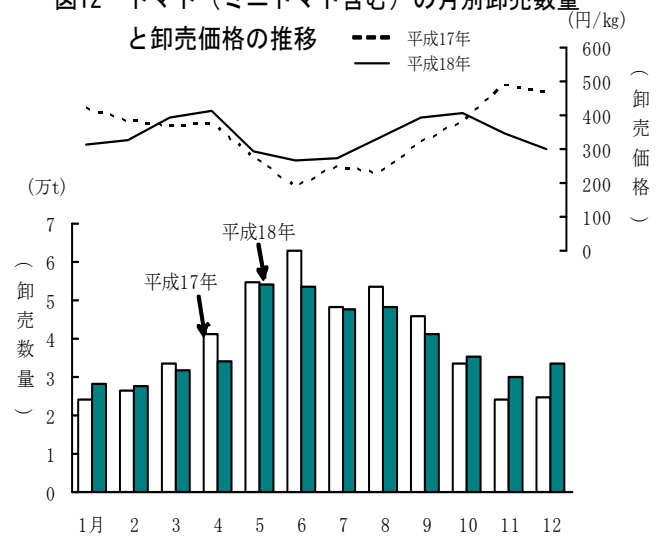
卸売数量は63万 tで、前年に比べ2%減少した。

これは、低温、日照不足による生育の抑制等により、3・4月及び8・9月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、6～9月に安値であった前年に比べ価格が安定していたことなどから、前年に比べ6%上昇し319円となった。

(表4・6、図12)

図12 トマト（ミニトマト含む）の月別卸売数量と卸売価格の推移



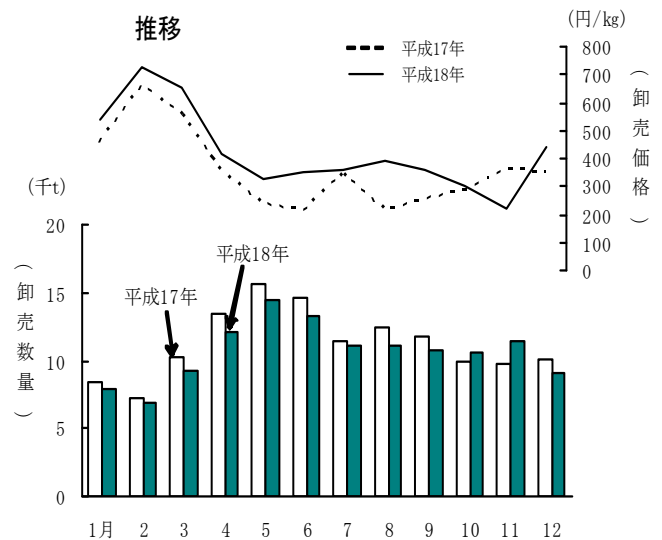
サ ピーマン

卸売数量は17万 tで、前年に比べ5%減少した。

これは、低温、日照不足による生育の抑制等により、ほぼ一年を通じて入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量の減少により、高値で推移したことなどから、前年に比べ20%上昇し397円となった。(表4・6、図13)

図13 ピーマンの月別卸売数量と卸売価格の推移



シ ばれいしょ

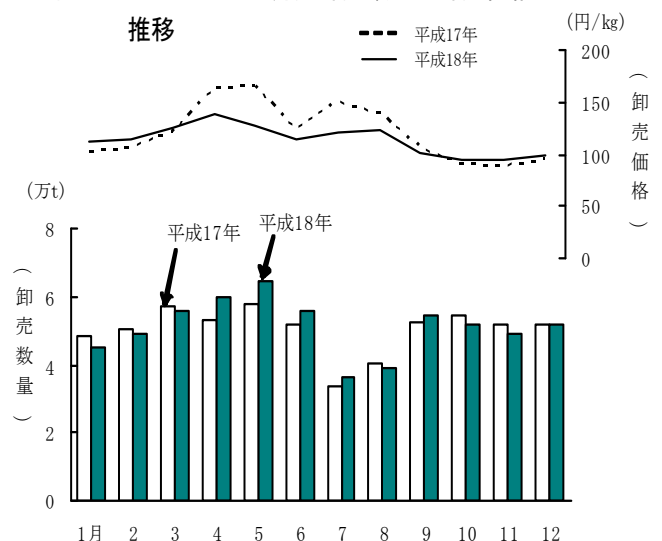
卸売数量は78万 tで、前年に比べ1%増加した。

これは、4～7月に天候不順の影響で入荷が少なかった前年に比べ、入荷量が増加したことなどによる。

卸売価格は、4～8月にかけて高値であった前年に比べ安定した価格で推移したことから前年に比べ5%低下し113円となった。

(表4・6、図14)

図14 ばれいしょの月別卸売数量と卸売価格の推移



## ス さといも

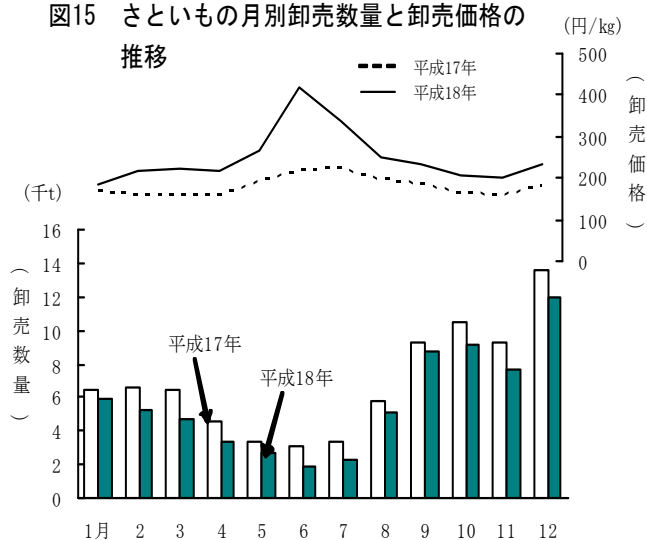
卸売数量は9万tで、前年に比べ18%減少した。

これは、6・7月の日照不足により着いも数が少なかったこと、8月の高温・少雨の影響で肥大が抑制されたことなどにより、1年を通じ入荷量が減少したことによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから前年に比べ32%上昇し225円となった。

(表4・6、図15)

図15 さといもの月別卸売数量と卸売価格の推移



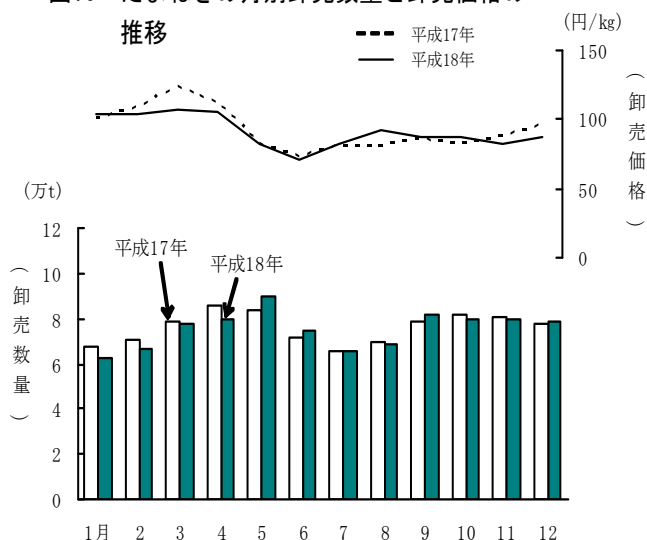
## セ たまねぎ

卸売数量は118万tで、前年に比べ1%減少した。

これは、アメリカ産の輸入量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したものの需要が弱かったことなどから、前年に比べ3%低下し90円となった。(表4・6、図16)

図16 たまねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



## (2) 果実

表7 主要果実の卸売数量

区 分	卸 売 数 量 (万 t)			対 前 年 比 (%)		
	平. 16	17	18	平. 16	17	18
果 実 計	496	500	448	95	101	90
うち、						
み か ん	95	93	77	97	98	82
い よ か ん	12	13	10	87	107	78
り ん ご	63	64	69	89	101	107
日 本 な し き	22	25	19	91	114	74
か も も う	18	21	17	87	121	80
ぶ い ど う	11	13	10	95	119	80
い ち ご	13	13	12	89	106	92
メ ロ ン	18	18	17	95	97	98
す い か	25	25	21	94	99	85
バ ナ ナ	44	44	40	94	100	90
グ レ ー プ フ ル ー ツ	72	73	67	99	101	91
オ レ ン ジ	19	15	12	102	78	79
	9	9	9	92	99	101

表8 主要果実の卸売価額

区 分	卸 売 価 額 (億円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 16	17	18	平. 16	17	18
果 実 計	12 971	12 253	12 125	102	94	99
うち、						
み か ん	1 842	1 609	1 797	112	87	112
い よ か ん	197	200	147	98	102	74
り ん ご	1 577	1 549	1 586	107	98	102
日 本 な し き	576	541	527	101	94	98
か も も う	437	339	393	116	78	116
ぶ い ど う	476	451	457	111	95	101
い ち ご	795	760	749	98	96	99
メ ロ ン	1 762	1 863	1 748	92	106	94
す い か	1 046	954	911	95	91	96
バ ナ ナ	714	617	617	116	86	100
グ レ ー プ フ ル ー ツ	906	814	778	97	90	96
オ レ ン ジ	281	212	209	94	76	99
	162	164	186	98	101	114

表9 主要果実の卸売価格

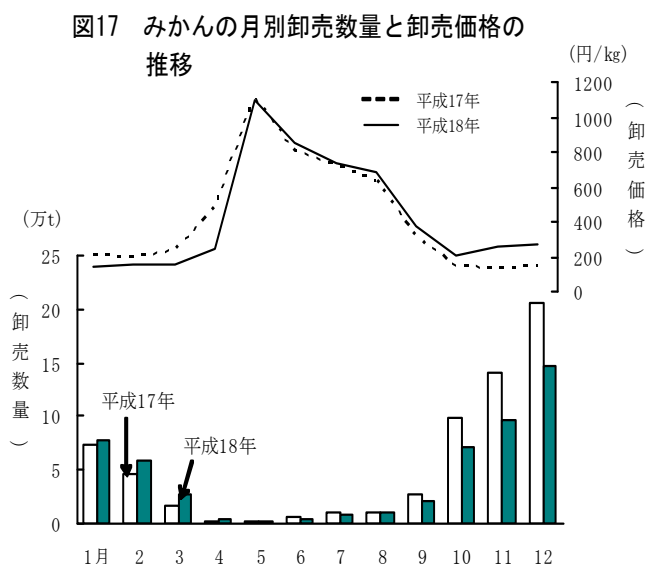
区 分	卸 売 価 格 (1kg当たり円)			対 前 年 比 (%)		
	平. 16	17	18	平. 16	17	18
果 実 計	261	245	271	107	94	111
うち、						
み か ん	193	172	235	116	89	137
い よ か ん	160	153	143	113	96	93
り ん ご	249	241	231	120	97	96
日 本 な し き	259	214	281	110	83	131
か も も う	250	160	232	133	64	145
ぶ い ど う	448	357	453	116	80	127
い ち ご	627	567	606	110	90	107
メ ロ ン	962	1 052	1 007	96	109	96
す い か	412	378	424	101	92	112
バ ナ ナ	161	140	156	124	87	111
グ レ ー プ フ ル ー ツ	126	111	117	99	88	105
オ レ ン ジ	146	142	177	92	97	125
	176	178	200	107	101	112

## ア みかん

卸売数量は77万 t で、前年に比べ18%減少した。

これは、8月以降の少雨の影響等で果実の肥大が抑制され小玉傾向となり入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、最盛期である11・12月に入荷量が減少し高値となったことなどから、前年に比べ37%上昇し235円となった。(表7・9、図17)



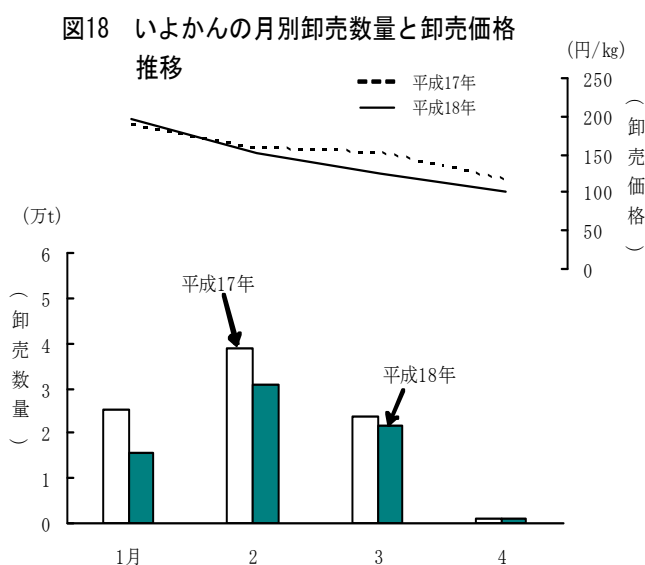
## イ いよかん

卸売数量は10万 t で、前年に比べ22%減少した。

これは、結果樹面積の減少及び前年12月の低温・降雨の影響により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したものの、需要が弱かったことなどから、前年に比べ7%低下し143円となった。

(表7・9、図18)

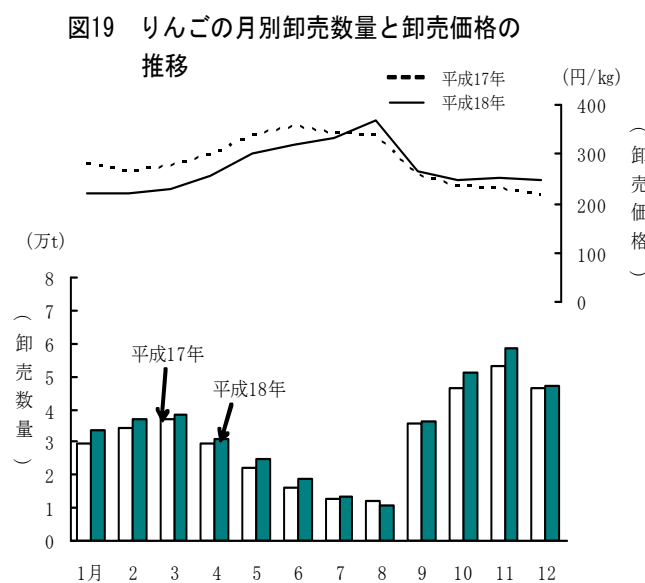


## ウ りんご

卸売数量は69万 t で、前年に比べ7%増加した。

これは、3月までは台風被害で作柄が悪かった前年に比べ生育良好であったこと及び8月からは天候が良く結果数がやや多めであったことから、一年を通じてほぼ順調に入荷されたことなどによる。

卸売価格は、順調な入荷が続いたことなどから、前年に比べ4%低下し231円となった。(表7・9、図19)



エ 日本なし

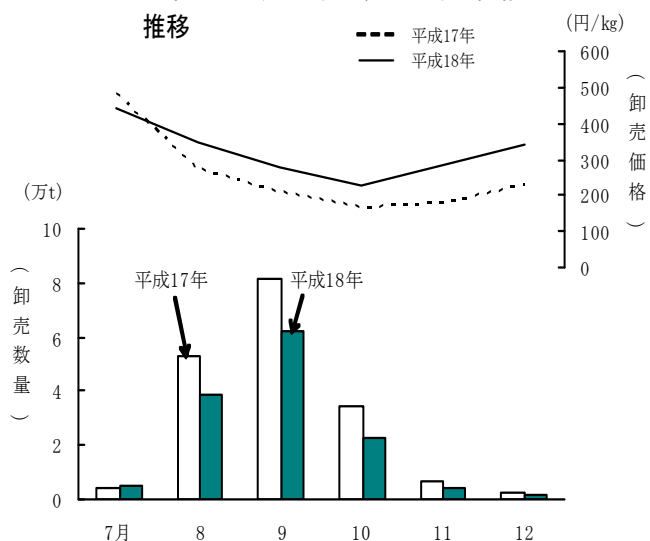
卸売数量は19万 t で、前年に比べ26%減少した。

これは、日照不足や8月の高温少雨から小玉傾向となり入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから高値で推移し、前年に比べ31%上昇し281円となった。

(表7・9、図20)

図20 日本なしの月別卸売数量と卸売価格推移



オ かき

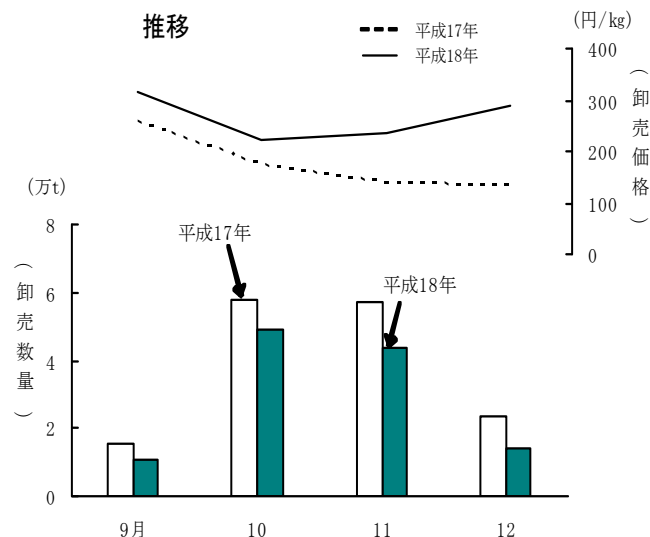
卸売数量は17万 t で、前年に比べ20%減少した。

これは、7月の日照不足、8月の高温、少雨により果実の肥大が抑制されたことや台風の被害により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから高値で推移し、前年に比べ45%上昇し232円となった。

(表7・9、図21)

図21 かきの月別卸売数量と卸売価格の推移



カ もも

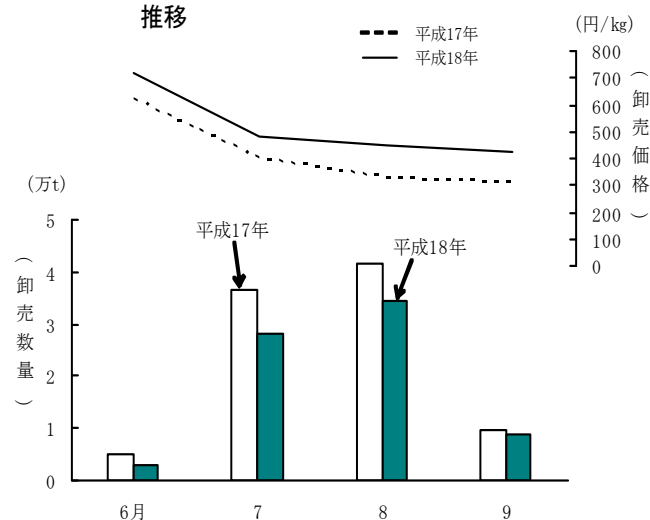
卸売数量は10万 t で、前年に比べ20%減少した。

これは、日照不足で果実の肥大が抑制されたことに加え、主産県において強風を伴う雷雨があり落果が発生したことなどによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから高値で推移し、前年に比べ27%上昇し453円となった。

(表7・9、図22)

図22 ももの月別卸売数量と卸売価格の推移



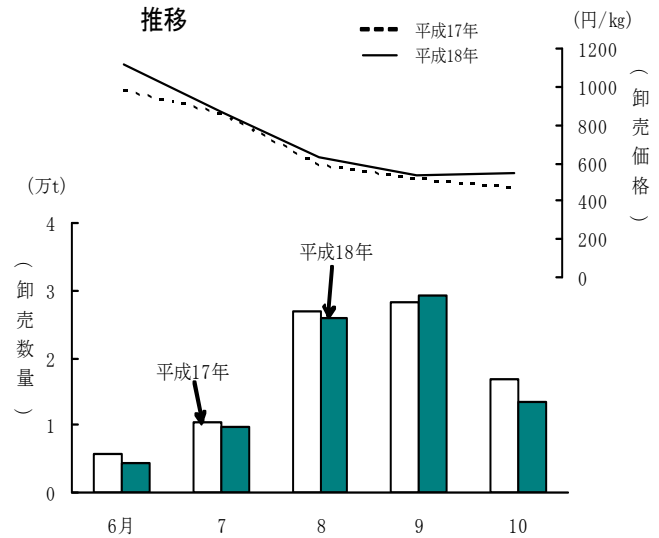
## キ ぶどう

卸売数量は12万 t で、前年に比べ8%減少した。

これは、低温により生育不良であったこと、主産県において病害が多かったことなどにより入荷量が減少したことによる。

卸売価格は、入荷量が減少したことなどから、前年に比べ7%上昇し606円となった。(表7・9、図23)

図23 ぶどうの月別卸売数量と卸売価格の推移



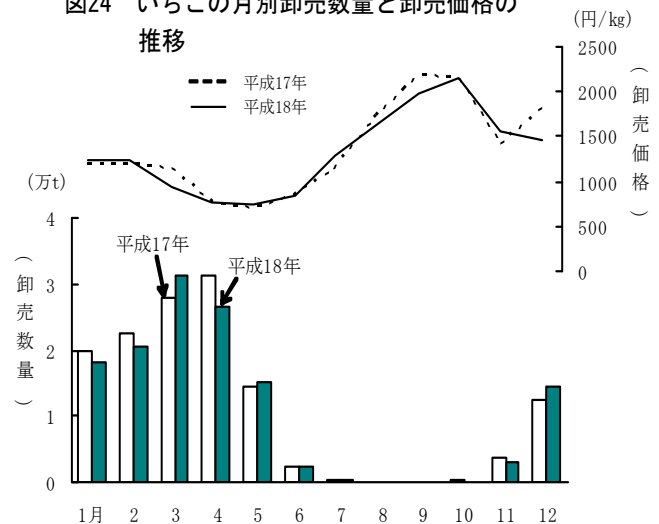
## ク いちご

卸売数量は17万 t で、前年に比べ2%減少した。

これは、前年12月の低温、日照不足により着色が遅れ、年初めの入荷量が少なかったことなどによる。

卸売価格は、入荷量が増加した3月、12月の価格が低迷したことなどから、前年に比べ4%低下し1,007円となった。(表7・9、図24)

図24 いちごの月別卸売数量と卸売価格の推移



## ケ メロン

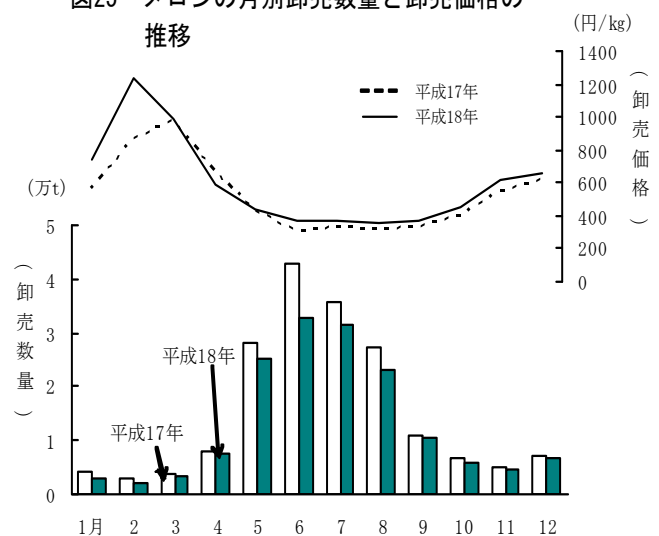
卸売数量は21万 t で、前年に比べ15%減少した。

これは、労働力事情による作付面積の減少や低温、日照不足による生育抑制から入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、一年を通じて入荷量が減少したことなどから高値で推移し、前年に比べ12%上昇し424円となった。

(表7・9、図25)

図25 メロンの月別卸売数量と卸売価格の推移



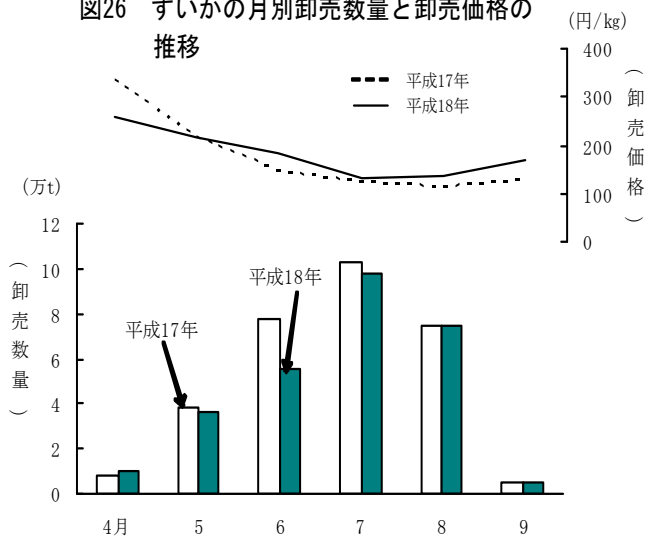
コ すいか

卸売数量は40万 t で、前年に比べ10%減少した。

これは、春先までの低温の影響等で6・7月の入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は、最盛期である6・7月に入荷量が減少し高値で推移したことなどから、前年に比べ11%上昇し156円となった。(表7・9、図26)

図26 すいかの月別卸売数量と卸売価格の推移



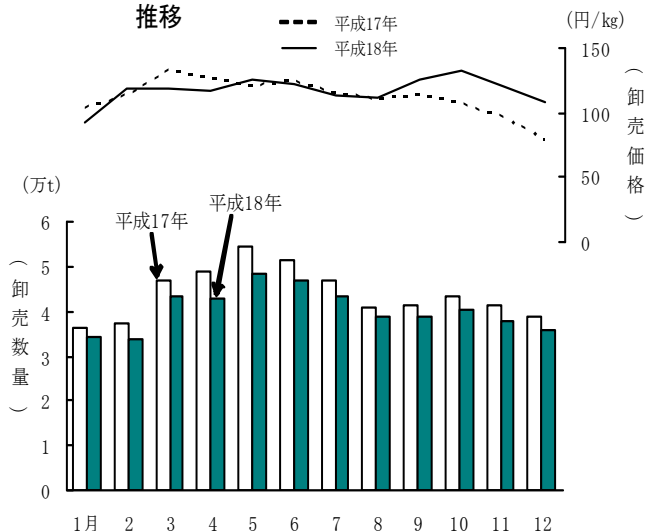
サ バナナ

卸売数量は67万 t で、前年に比べ9%減少した。

これは、フィリピン産の輸入量が天候不順の影響から減少したことなどによる。

卸売価格は、国産果実の入荷量が減少したことにより引き合いが強まり、9月以降高値で推移したことなどから、前年に比べ5%上昇し117円となった。(表7・9、図27)

図27 バナナの月別卸売数量と卸売価格の推移



シ グレープフルーツ

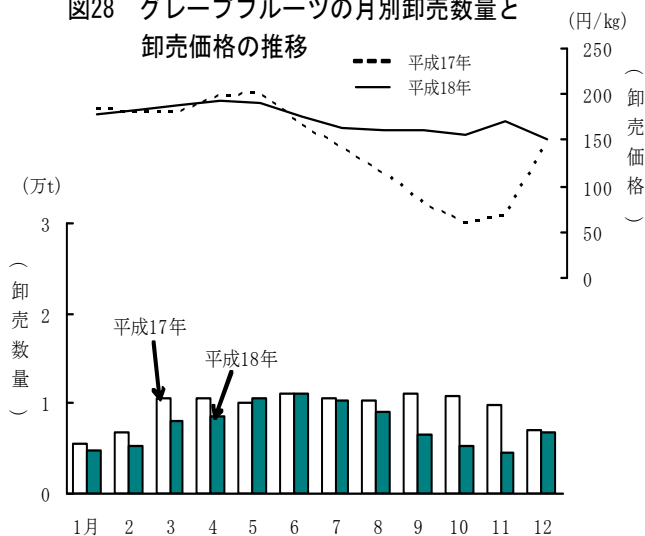
卸売数量は12万 t で、前年に比べ21%減少した。

これは、アメリカ(テキサス)産及び南アフリカ産の輸入が大幅に減少したことなどによる。

卸売価格は、小玉傾向で安値であった昨年に比べ9月以降安定した価格で推移したことなどから、前年に比べ25%上昇し177円となった。

(表7・9、図28)

図28 グレープフルーツの月別卸売数量と卸売価格の推移



ス オレンジ

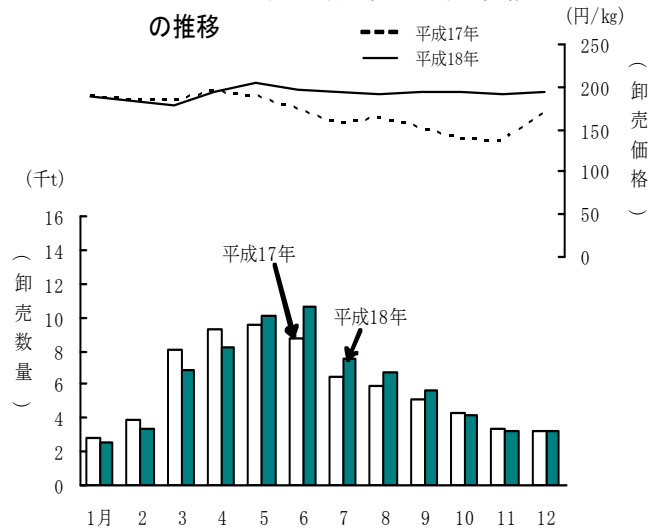
卸売数量は9万tで、前年に比べ1%増加した。

これは、アメリカ（カリフォルニア）産の作柄が良好で順調に輸入されたことなどによる。

卸売価格は、品質が良好であり価格が安定して推移したことなどから、前年に比べ12%上昇し200円となった。

（表7・9、図29）

図29 オレンジの月別卸売数量と卸売価格の推移



参考2 主な果実の輸入国と輸入数量割合（平成18年計）

上段：輸入国名  
下段：数量割合（%）

品目	1位	2位	3位	4位	5位
バナナ	フィリピン 87.3	エクアドル 9.7	台湾 1.5	ペルー 0.4	メキシコ 0.4
パイナップル	フィリピン 99.4	台湾 0.3	アメリカ 0.3	中国 0.1	
レモン	アメリカ 71.1	チリ 22.5	南アフリカ 4.3	ニュージーランド 1.6	アルゼンチン 0.5
グレープフルーツ	アメリカ 64.0	南アフリカ 28.4	イスラエル 5.5	スワジランド 1.4	キューバ 0.4
オレンジ	アメリカ 73.0	オーストラリア 12.8	チリ 7.8	南アフリカ 6.4	イタリア 0.0
さくらんぼ	アメリカ 98.5	チリ 1.1	ニュージーランド 0.2	オーストラリア 0.2	
キウイフルーツ	ニュージーランド 95.1	チリ 3.3	アメリカ 1.4	中国 0.2	
メロン	メキシコ 73.5	アメリカ 23.7	韓国 2.4	ニュージーランド 0.3	中国 0.1

資料：財務省「貿易統計」